

園芸市場情報

平成25年4月号

www.pref.chiba.lg.jp/seisan/engei/

発行：千葉県農林水産部生産販売振興課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

4月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

連載 第63回 特ダネ・花前線 P13

連載 第70回 やっちゃんば閑話
「おいしい！！」から脱しよう P15

<今月の写真>

3月1日に、カラー生産県である千葉・愛知・熊本の関係者22名がカラーの花を持って晴海通りを歩く「フラワーウォーク」を実施。道を行く多くの人々に「ホワイトデーはカラーを贈る日」をPRしました。産地が力を合わせて、新たな需要の開拓に取り組んでいます。

(13ページに関連記事)



CONTENTS

I 青果情報

- 01 3月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と単価
 04 4月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 05 春キャベツ特集
 06 だいこん、にんじん
 07 キャベツ類、ほうれんそう
 08 ねぎ、レタス類
 09 きゅうり、トマト

II 花き情報

- 10 3月の経過（販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過）
 11 4月の見通し
 11 カーネーション、カラー(水生)
 12 ガーベラ、スターチス(シヌアータ)
 13 特ダネ・花前線 Photoレポート in 大田市場

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 14 2月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 15 「おいしい！！」から脱しよう

V 首都圏掲示板

- 16

※「本県野菜市場調査結果（出荷品の評価）」については、平成24年3月をもって終了しました。

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 3月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	本県（千葉市）の3月上中旬の気象データでは、平均気温12.1℃（平年比+3.4℃）と平年より大幅に高く、日照時間は146時間（平年112時間）と平年より大幅に多く、降水量は28.0mm（平年59.4mm）と平年より大幅に少なかった。
入荷量	東京都中央卸売市場の入荷野菜は、関東産、西南暖地産が中心となった。 入荷量は、気温の上昇に伴い生育、肥大が進んだため、「だいこん」「レタス類」「きゅうり」「トマト」等多くの品目で前年よりも大幅に多くなった。 一方で、「はくさい」は産地の切り替わりで前年よりもかなり少なく、「キャベツ類」は品種の切り替わりでやや少なかった。 結果、入荷量は3月上中旬で85,965t（前年比108.8%）と前年よりもかなり多くなった。
相 場	入荷量が大幅に増加した「だいこん」「レタス類」「きゅうり」「トマト」に加え殆どの品目で、日照不足や低温による作柄不良から高値基調であった前年よりも大幅な安値となった。 結果として、価格は3月上中旬計で214円/kg（前年比78.9%）と前年よりも大幅に安値となった。

果実類

入荷量	「みかん類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回った。 入荷量は、出荷がずれ込んだ「みかん類」は前年よりもかなり多く、作柄良好な「りんご類」や生育順調な「いちご類」は大幅に多くなった。 一方、輸入果実の入荷量は、フィリピンバナナの不作や、円高による買い控えの影響で大幅に少なくなった。 結果として、入荷量は3月上中旬計で21,819t（前年比103.4%）と前年よりもやや多くなった。
相 場	入荷量が増加した「みかん類」「りんご類」は前年よりも大幅な、「いちご類」はかなり安値となった一方、輸入果実はかなり高値となった。 結果として、3月上中旬計で383円/kg（前年比91.6%）と前年よりもかなり安値となった。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成25年2月下旬～3月上中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	2月下旬				3月上旬				3月中旬				3月上中計			
		開市日数 本年6日・前年7日		開市日数 本年7日・前年8日		開市日数 本年7日・前年6日		開市日数 本年14日・前年14日		開市日数 本年7日・前年6日		開市日数 本年14日・前年14日		開市日数 本年14日・前年14日			
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	36,157	94.8	225	82.1	43,042	98.7	222	82.2	42,923	121.3	205	75.5	85,965	108.8	214	78.9
だいこん	全国	3,344	99.5	96	77.3	4,105	102.2	92	65.4	3,926	144.5	74	54.9	8,030	119.3	83	60.2
	千葉	836	93.1	100	83.1	1,054	93.7	97	69.2	1,145	172.9	84	60.0	2,200	123.0	90	64.4
にんじん	全国	1,853	88.5	136	103.2	2,257	95.4	150	100.8	2,166	111.3	153	98.5	4,423	102.6	151	99.9
	千葉	1,286	89.0	138	99.7	1,439	85.7	151	98.7	1,105	97.5	144	94.9	2,544	90.5	148	97.0
はくさい	全国	3,930	101.0	75	82.2	3,401	96.9	68	59.1	2,641	95.9	57	43.7	6,042	96.5	63	51.9
キャベツ類	全国	4,302	87.0	115	74.5	5,361	89.0	99	81.8	5,345	100.7	90	78.6	10,706	94.5	94	80.1
	千葉	620	57.3	114	74.6	1,071	103.0	96	76.7	1,004	161.6	83	70.4	2,074	124.9	89	73.2
ほうれんそう	全国	487	94.8	398	94.5	597	97.9	342	90.8	548	122.1	263	73.2	1,145	108.1	304	82.4
	千葉	126	123.2	259	72.8	123	96.6	256	85.0	105	111.0	207	75.0	229	102.7	233	80.3
ねぎ	全国	1,370	97.3	261	83.4	1,475	103.0	257	69.6	1,400	112.9	214	58.2	2,875	107.6	236	64.1
	千葉	575	99.1	272	79.1	694	104.4	269	68.5	703	115.6	225	58.2	1,397	109.7	247	63.3
レタス類	全国	1,951	101.7	246	59.5	2,915	122.2	185	56.2	2,893	148.2	143	53.0	5,808	133.9	164	54.3
	千葉	120	91.4	236	58.9	132	93.0	180	58.1	112	114.0	138	54.0	245	101.6	161	55.9
きゅうり	全国	1,566	101.3	332	71.3	1,906	117.0	276	60.7	2,248	158.6	225	42.0	4,154	136.4	248	50.4
	千葉	315	99.5	302	70.7	363	149.9	244	59.0	401	183.0	195	40.9	764	165.6	218	49.2
なす	全国	421	81.6	441	96.4	549	91.9	405	96.2	687	138.5	352	73.7	1,235	113.0	375	84.1
	千葉	2	85.9	507	89.5	4	152.3	486	80.8	7	208.9	425	70.2	11	184.0	447	74.1
トマト	全国	1,496	104.3	457	76.8	1,737	101.6	471	86.7	2,121	136.6	411	74.9	3,858	118.3	438	80.2
	千葉	66	93.2	453	78.4	89	114.7	454	85.7	113	159.3	394	74.6	202	136.0	420	79.5
ピーマン	全国	396	105.0	597	69.2	492	118.0	629	73.1	557	164.9	549	60.7	1,048	139.0	587	66.6
	千葉	0	25.9	1,155	94.2	0	26.1	1,155	113.9	0	83.6	1,155	135.5	0	44.9	1,155	120.1
さといも	全国	237	96.7	206	91.4	232	87.0	211	88.8	211	82.8	194	82.8	443	85.0	203	86.0
	千葉	77	117.0	182	83.4	68	78.2	192	78.7	70	72.6	176	74.5	139	75.2	184	76.6
ばれいしょ類	全国	2,461	95.7	90	70.3	2,868	97.0	94	70.8	2,639	109.1	95	67.9	5,507	102.4	94	69.5
たまねぎ	全国	2,941	94.7	103	98.1	3,822	102.9	101	93.5	3,791	121.8	96	89.5	7,613	111.5	99	91.5
生しいたけ	全国	187	85.8	911	103.3	208	82.8	889	105.1	193	96.2	814	101.5	400	88.7	853	103.2
かぼちゃ	全国	729	60.7	160	138.5	939	74.1	146	121.0	927	87.4	134	107.1	1,867	80.1	140	114.2
さやえんどう	全国	55	101.1	829	65.6	70	104.2	866	71.1	79	160.2	765	78.5	149	128.0	813	72.9
かんしょ	全国	894	95.1	154	81.6	948	95.7	160	83.8	950	122.3	158	79.8	1,898	107.4	159	81.9
	千葉	457	94.3	138	79.6	478	94.6	147	82.6	503	128.1	143	80.3	982	109.3	145	81.4
かぶ	全国	433	98.6	123	81.7	525	104.0	122	82.6	517	142.9	115	76.2	1,042	120.2	118	79.5
	千葉	385	99.5	125	82.6	467	105.6	124	83.6	450	142.2	117	76.8	917	120.8	121	80.4
ごぼう	全国	285	118.8	241	64.0	311	109.7	245	66.6	308	153.4	226	57.9	619	127.9	235	62.5
	千葉	1	110.2	392	75.2	2	33.4	303	86.7	3	61.0	168	49.1	5	46.2	220	63.7
こまつ菜	全国	273	109.3	283	78.0	331	111.3	274	88.2	329	120.7	194	73.1	661	115.8	234	81.0
	千葉	21	126.1	274	76.3	22	109.2	267	83.8	19	136.0	178	64.8	41	120.0	226	75.2
こねぎ	全国	123	107.6	747	73.1	144	96.3	685	77.2	158	128.7	600	78.0	302	110.9	640	76.8
わけぎ	全国	6	121.3	648	70.6	7	118.6	715	94.8	7	124.2	614	84.4	14	121.3	665	89.7
糸みつば	全国	52	99.9	316	60.2	73	95.5	421	76.9	65	131.1	263	68.2	139	109.5	347	71.6
しゅんぎく	全国	81	85.9	470	83.8	96	96.7	403	82.5	72	117.4	284	59.1	168	104.6	352	72.5
	千葉	29	75.0	478	88.7	34	86.9	406	85.8	23	139.8	285	59.2	56	102.4	358	75.2
にら	全国	271	106.1	398	61.3	302	98.3	432	76.0	323	122.8	364	72.6	625	109.6	397	73.8
セルリー	全国	253	94.8	229	76.7	316	95.0	267	80.1	349	153.3	259	71.7	665	118.7	262	76.2

品目	産地	2月下旬				3月上旬				3月中旬				3月上中計			
		開市日数 本年6日・前年7日		開市日数 本年7日・前年8日		開市日数 本年7日・前年6日		開市日数 本年14日・前年14日		開市日数 本年7日・前年6日		開市日数 本年14日・前年14日		開市日数 本年7日・前年6日		開市日数 本年14日・前年14日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	全国	95	100.1	187	73.7	121	74.5	202	114.0	135	159.2	171	85.9	256	103.5	186	100.5
ブロッコリー	全国	745	98.0	297	89.4	1,152	95.2	244	102.5	1,281	164.6	190	72.2	2,433	122.3	216	87.0
サラダ菜	全国	27	94.4	436	56.8	32	94.5	414	55.8	38	141.2	297	42.0	70	115.4	350	48.2
	千葉	12	102.8	376	53.1	13	98.8	376	52.8	16	180.3	263	38.0	29	131.7	314	44.6
パセリ	全国	22	108.7	740	65.0	26	108.8	673	62.5	27	128.8	558	67.6	53	118.2	614	64.0
	千葉	9	81.0	746	66.9	9	89.0	679	63.9	10	115.7	579	69.1	19	100.7	629	65.2
チンゲンサイ	全国	132	103.7	245	67.0	154	103.2	271	84.1	156	127.4	210	66.0	310	114.1	240	75.0
エンダイブ	全国	5	86.9	580	65.6	7	87.6	545	99.6	7	136.6	414	63.0	14	107.5	478	80.6
ミニトマト	全国	340	119.7	754	70.7	448	125.3	732	72.4	503	164.5	649	72.5	951	143.4	688	71.8
	千葉	30	89.5	781	72.5	39	106.7	788	76.5	45	159.7	720	77.2	84	129.9	751	76.1
とうもろこし	全国	2	286.1	381	76.6	5	180.3	377	67.8	3	124.9	448	99.7	7	155.9	402	79.0
いんげん	全国	79	81.9	801	97.7	89	77.7	830	100.1	101	108.4	836	104.3	190	91.4	833	102.0
そらまめ	全国	62	126.3	571	64.9	-	-	-	-	193	203.6	459	72.7	0	-	1,005	-
えだまめ	全国	5	304.4	419	23.5	3	85.3	1,482	100.0	18	234.6	474	82.1	21	191.3	604	72.0
やまといも	全国	50	83.7	498	104.2	50	72.2	496	105.4	55	102.6	495	107.3	105	85.5	496	106.2
	千葉	31	80.7	497	104.7	30	68.6	495	106.3	34	103.8	490	107.8	64	83.8	492	106.8
根しょうが	全国	101	78.0	391	90.1	148	113.2	372	81.2	144	117.7	403	85.3	292	115.3	387	83.3
マッシュルーム	全国	27	89.9	840	100.3	32	96.6	815	96.7	29	107.9	849	102.1	61	101.7	832	99.3
外国産	-	1,537	56.2	224	119.8	1,872	62.8	217	112.6	1,795	74.8	205	107.1	3,667	68.2	211	109.9
果実総量	-	11,176	104.8	369	89.0	10,887	95.2	385	92.5	10,932	113.0	382	90.7	21,819	103.4	383	91.6
みかん類	全国	3,009	125.0	228	76.5	1,706	102.6	227	73.7	1,119	118.4	229	71.3	2,825	108.3	228	72.8
(ハウスみかん)	全国	3	37.1	950	106.3	8	158.0	820	87.3	9	207.0	737	80.6	18	181.0	775	83.6
(早生みかん)	全国	49	63.8	297	53.4	33	146.4	246	84.4	13	93.7	309	90.7	46	337.5	263	77.4
りんご類	全国	2,026	136.8	237	65.8	2,263	122.0	236	63.7	2,329	149.7	239	62.7	4,592	134.6	237	63.3
(ふじ)	全国	1,631	138.4	240	65.9	1,809	124.9	239	63.3	1,823	150.9	244	62.9	3,632	136.8	242	63.2
いちご類	全国	1,366	110.6	1,181	86.9	1,616	113.2	1,108	90.3	1,889	146.0	955	82.0	3,505	128.8	1,026	85.6
(とちおとめ)	全国	670	116.8	1,054	84.7	819	123.5	995	90.5	906	152.1	843	80.9	1,725	137.0	915	85.3
(あまおう)	全国	241	100.0	1,546	98.3	237	85.5	1,481	100.9	335	130.6	1,244	88.6	0	13.2	833	108.6
メロン類	全国	86	89.6	1,396	120.5	108	100.0	1,310	97.4	111	96.9	1,358	97.7	219	98.4	1,334	97.5
	千葉	3	98.1	1,540	112.0	4	86.4	1,494	108.6	5	101.6	1,479	104.5	9	94.2	1,486	106.4
(アールスメロン)	全国	61	100.5	1,646	118.7	68	93.5	1,580	101.5	78	100.2	1,541	97.0	146	97.0	1,559	99.1
	千葉	3	98.1	1,540	112.0	4	77.0	1,501	109.1	5	101.6	1,479	104.5	9	89.0	1,489	106.7
ぶどう類	全国	9	103.1	484	103.1	11	62.9	584	114.6	12	72.6	625	115.3	23	67.5	605	115.2
くり	全国	0	35.0	578	150.2	0	22.1	625	106.5	0	200.0	563	83.6	0	89.5	573	92.4
かき類	全国	74	994.3	295	49.1	12	87.5	358	79.8	2	17850.0	504	36.2	14	103.0	380	84.6
外国産	-	1,320	74.0	166	110.3	1,591	73.4	172	111.8	1,606	90.4	180	116.0	3,197	81.1	176	114.0

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 4月の見通し

野菜類

春物野菜の最盛期となり、関東が中心産地となります。

低温の影響による生育の遅延、小玉、小ぶり傾向も気温の上昇とともに回復し、入荷量は多くの品目で前年並からやや上回る見込みです。

価格は、順調な入荷が見込まれるため、前年高値で推移した「だいこん」「キャベツ類」「トマト」等を中心に大幅に下回り、全体では安値で推移する見込みです。

果実類

「いちご類」「すいか類」「メロン類」が中心に出回ります。

入荷量は、「いちご類」が前年並となるものの、「すいか類」「メロン類」が少なかった前年を大幅に上回り、全体では前年をやや上回る見込みです。

価格は、「いちご類」が前年並となるものの、順調な入荷から「スイカ類」がかなり、「メロン類」が大幅に下がります。全体では前年をやや下回る見込みです。

()は単位

品目	入 荷 量				単 価				千葉県産実績	
	見込み (t)	前年実績 (t)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (t)	見込み (円/kg)	前年実績 (円/kg)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (円/kg)	前年入荷量 (t)	前年占有率 (%)
だいこん	10,600	10,404	101.9	10,761	90	140	64.3	102	8,468	81.4
にんじん	6,800	6,538	104.0	7,492	150	176	85.2	177	505	7.7
はくさい	6,100	6,052	100.8	6,030	60	93	64.5	90	114	1.9
キャベツ類	17,000	16,690	101.9	17,468	100	131	76.3	117	1,590	9.5
ほうれんそう	1,270	1,239	102.5	1,269	380	413	92.0	458	180	14.5
ねぎ	3,800	3,754	101.2	4,033	240	255	94.1	275	1,783	47.5
レタス類	7,800	7,474	104.4	7,253	150	209	71.8	198	149	2.0
きゅうり	7,000	6,821	102.6	7,074	230	246	93.5	247	898	13.2
なす	3,500	3,315	105.6	3,546	340	366	92.9	351	46	1.4
トマト	6,100	5,928	102.9	6,446	320	472	67.8	401	362	6.1
いちご類	5,150	5,129	100.4	5,215	750	762	98.4	755	68	1.3
すいか類	1,400	1,196	117.1	1,836	265	304	87.2	286	0	0.0
メロン類	930	655	142.0	1,162	696	839	83.0	668	12	0.2

前年比10%以上

前年比10%以下

3 品目別生産出荷概況

春キャベツ

主要産地の春きゃべつの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	24年4月入荷量	24年4月シェア率
愛知	7,892 t	38.8 %
神奈川	6,327 t	31.1 %
千葉	1,590 t	7.8 %
茨城	196 t	1.0 %

今後の競合産地の動向は?

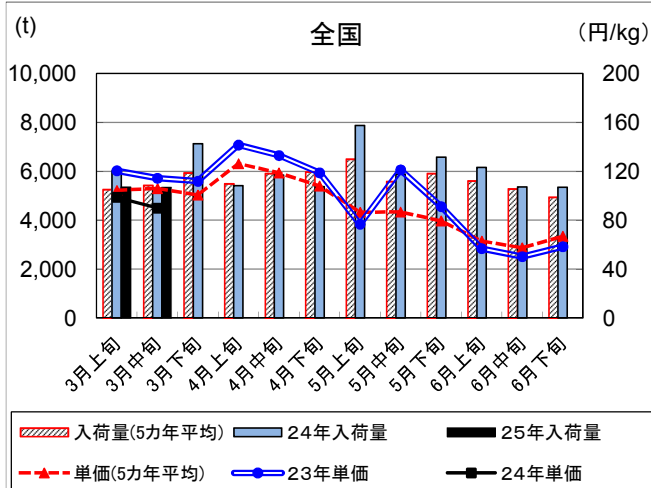
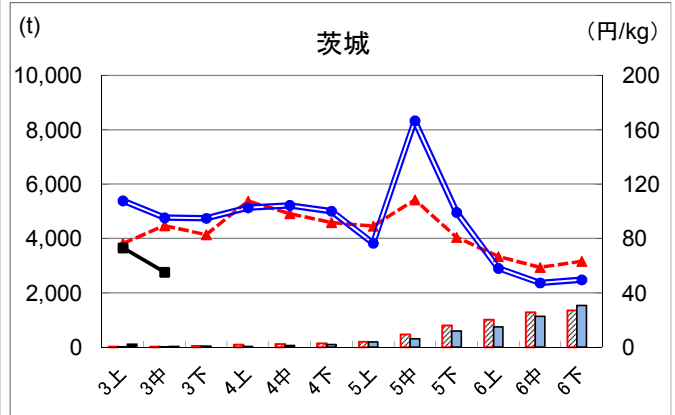
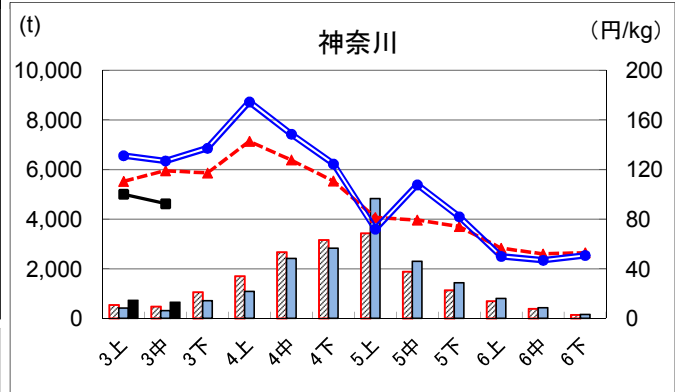
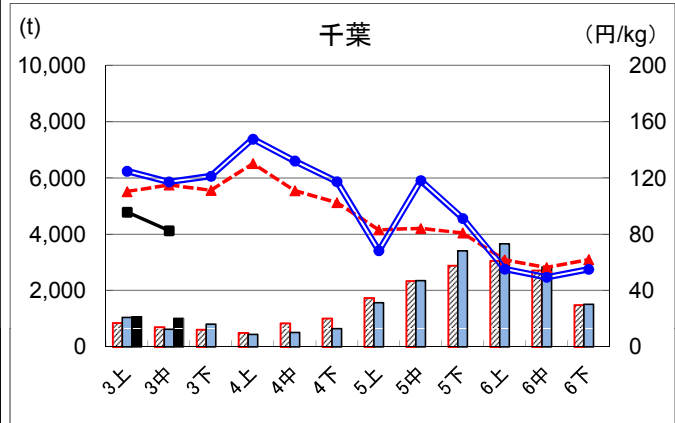
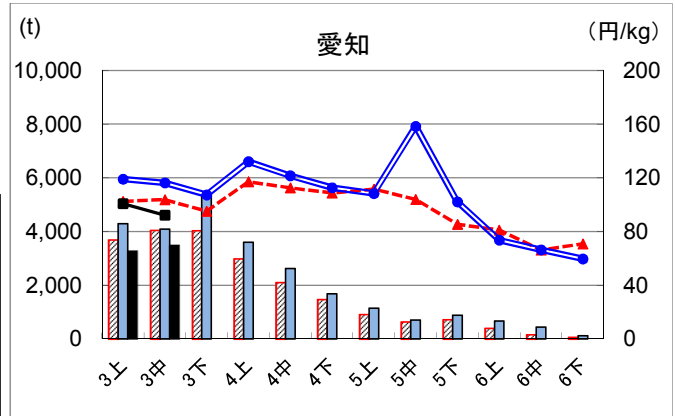
春キャベツの入荷は4月から6月で主な産地は愛知、神奈川、千葉、茨城です。

冬キャベツの主産地愛知産は4月も冬系品種を出荷し4割近いシェアがありますが、中旬以降徐々に減少し、神奈川産が市場をリードします。また、千葉産は5月から出荷が本格化し5月下旬から6月上旬にピークを、茨城産は6月にピークを迎えます。

本年は各産地とも冬の厳しい寒さにより遅れていたものの、3月の好天により回復し、4月は順調な出荷が予想されます。

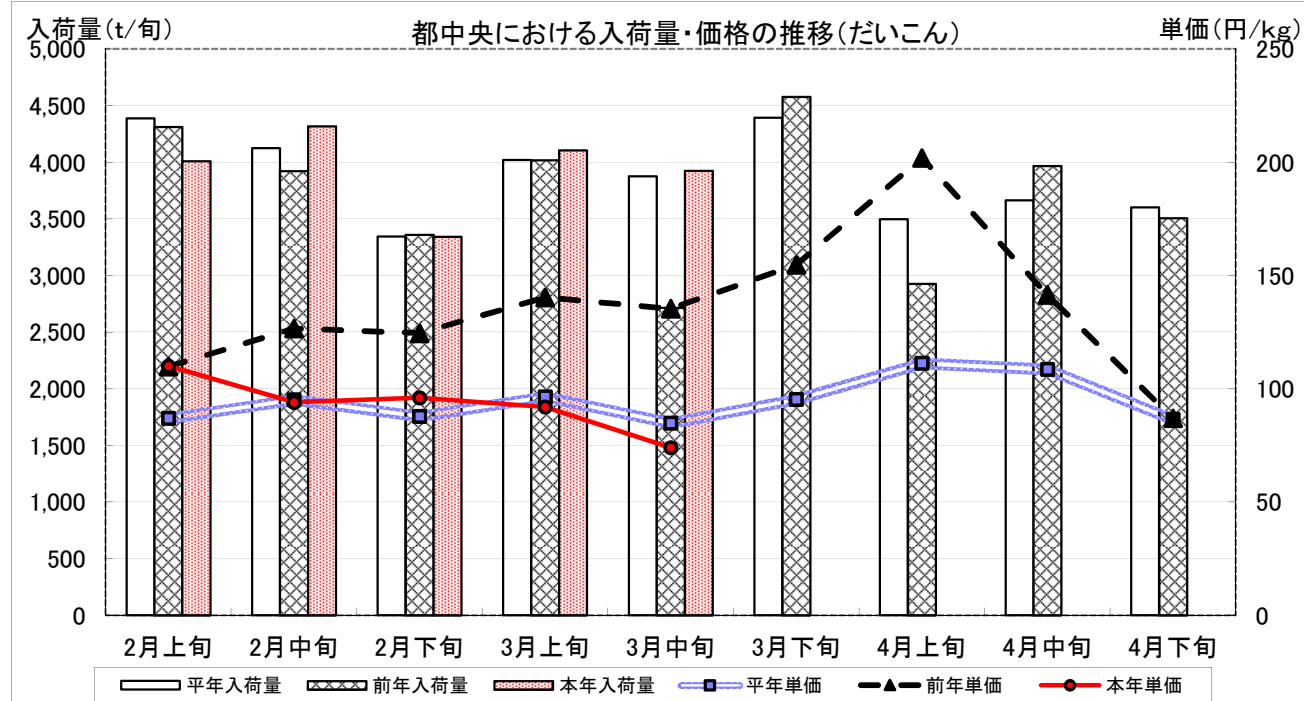
愛知産は徐々に減少し、まとまった量が出てくるのは中旬までの見込みです。神奈川産は低温による生育遅れを防ぐため、株間を広くする等の対策をとっており順調に玉伸びしています。千葉産も平年通りの順調な生育です。

今後も好天が続けば生育が前進化し、4月下旬から5月の出荷量が多くなることも予想されます。



だいこん

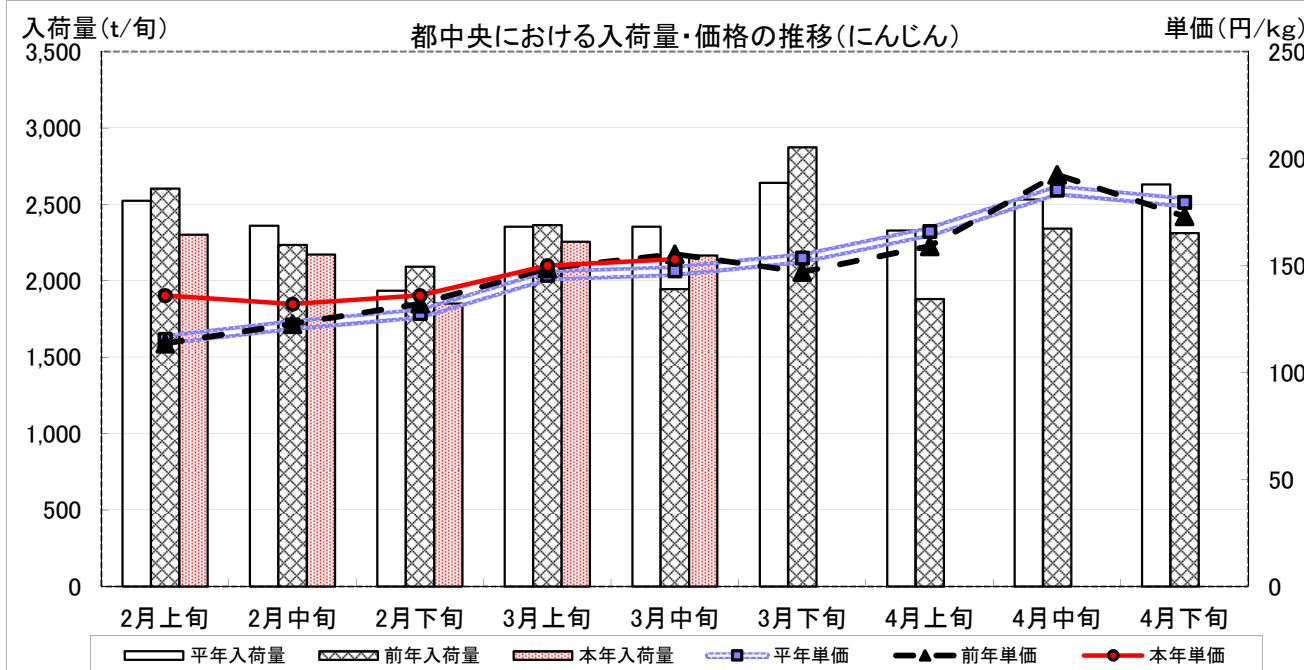
入荷予測	10,600t(前年比101.9%、平年比98.5%)
価格予測	90円(前年比64.3%、平年比88.2%)
市況予測	上旬;保合、中旬;保合、下旬;強保合
主産地の概況	千葉県:低温の影響により生育は遅れているものの、気温の上昇に伴い回復見込み。病害虫の発生も少なく、品質は良好。出荷量は前年並の見込み。
	神奈川県:生育は順調。4月上旬で出荷終了となり、出荷量は前年並の見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

にんじん

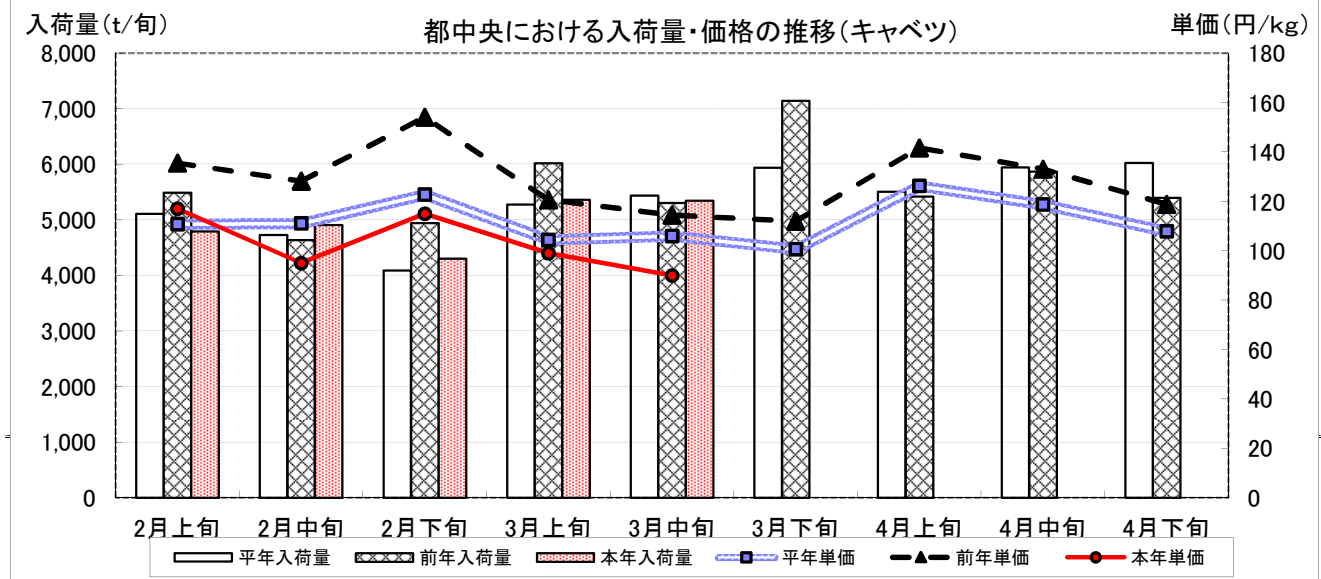
入荷予測	6,800t(前年比104.0%、平年比90.8%)
価格予測	150円(前年比85.2%、平年比84.7%)
市況予測	上旬;保合、中旬;保合、下旬;保合
主産地の概況	徳島県:生育は低温による遅れはあるものの、気温の上昇に伴い肥大が進み、色のりも良い見込み。出荷量は、少なかった前年をかなり上回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

キャベツ類

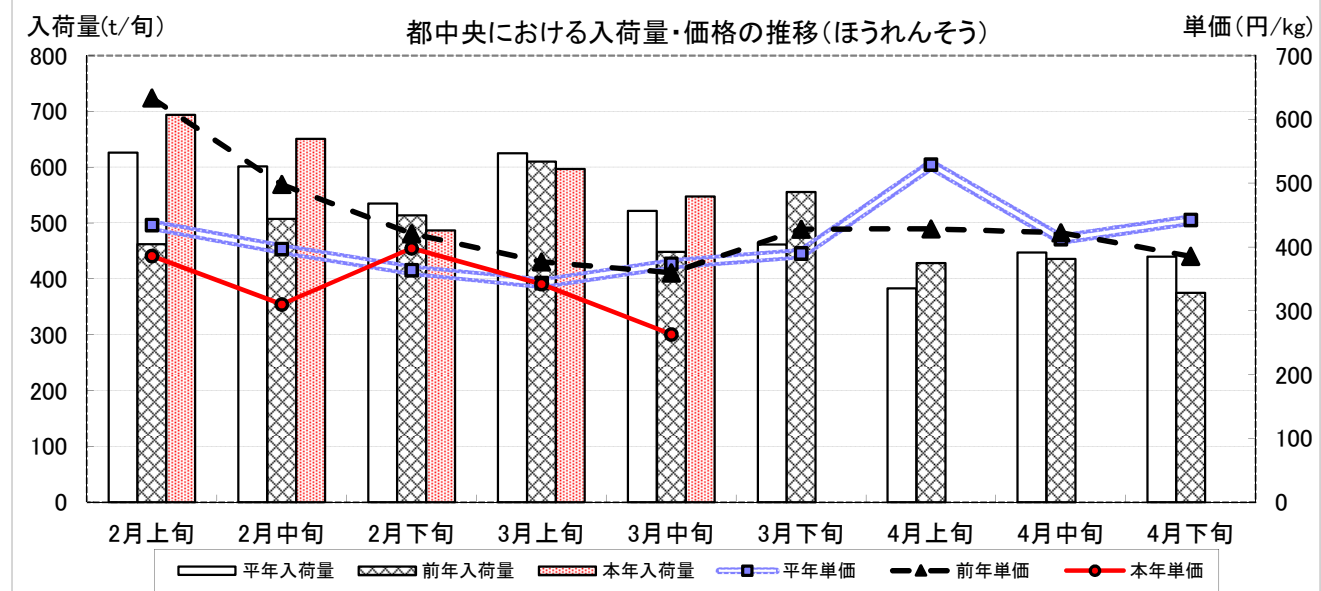
入荷予測	17,000t(前年比101.9%、平年比97.3%)
価格予測	100円(前年比76.3%、平年比85.5%)
市況予測	上旬;強保合、中旬;保合、下旬;保合
主産地の概況	神奈川県;生育は、低温の影響による小玉傾向が気温の上昇とともに回復見込み。出荷量は前年をやや上回る見込み。
	愛知県;春系品種は上旬まで、寒玉系中心となる。生育は厳冬期の冷え込みの影響により遅れが見られる。やや小玉傾向となることから、出荷量は、前年をやや下回る見込み。
	千葉県;低温の影響により生育は遅れているものの、気温の上昇に伴い回復見込み。病害虫の発生は特になく、品質は概ね良好。出荷量は低温の影響で少なかった前年を、大幅に上回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

ほうれんそう

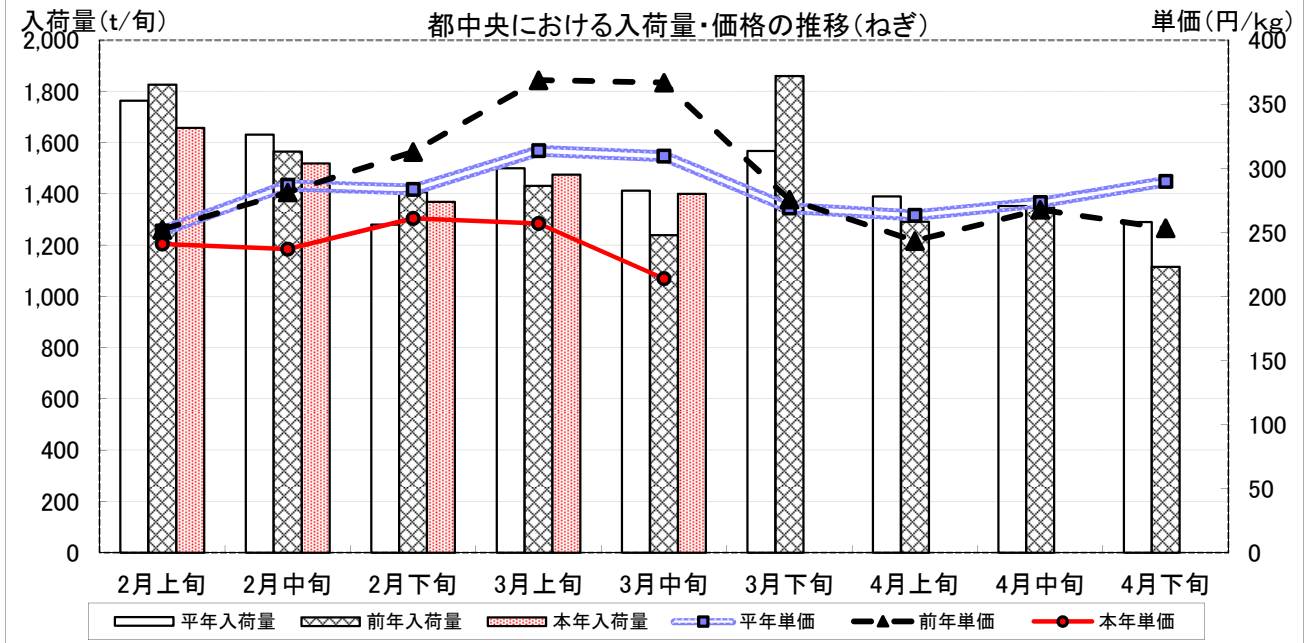
入荷予測	1,270t(前年比102.5%、平年比100.1%)
価格予測	380円(前年比92.0%、平年比83.0%)
市況予測	上旬;強保合、中旬;弱保合、下旬;保合
主産地の概況	群馬県;生育は低温による遅延が見られるものの、気温の上昇に伴い回復見込み。出荷量は前年並の見込み。
	茨城県;生育は順調。出荷量は、前年並の見込み。
	埼玉県;生育は順調で、病害虫の発生も少なく品質は良好。今後の気温は高めから平年並の推移が見込まれるため、出荷量は前年並の見込み。
	千葉県;生育は順調。病害虫の発生も少なく、品質は概ね良好。出荷量は前年並の見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

ねぎ

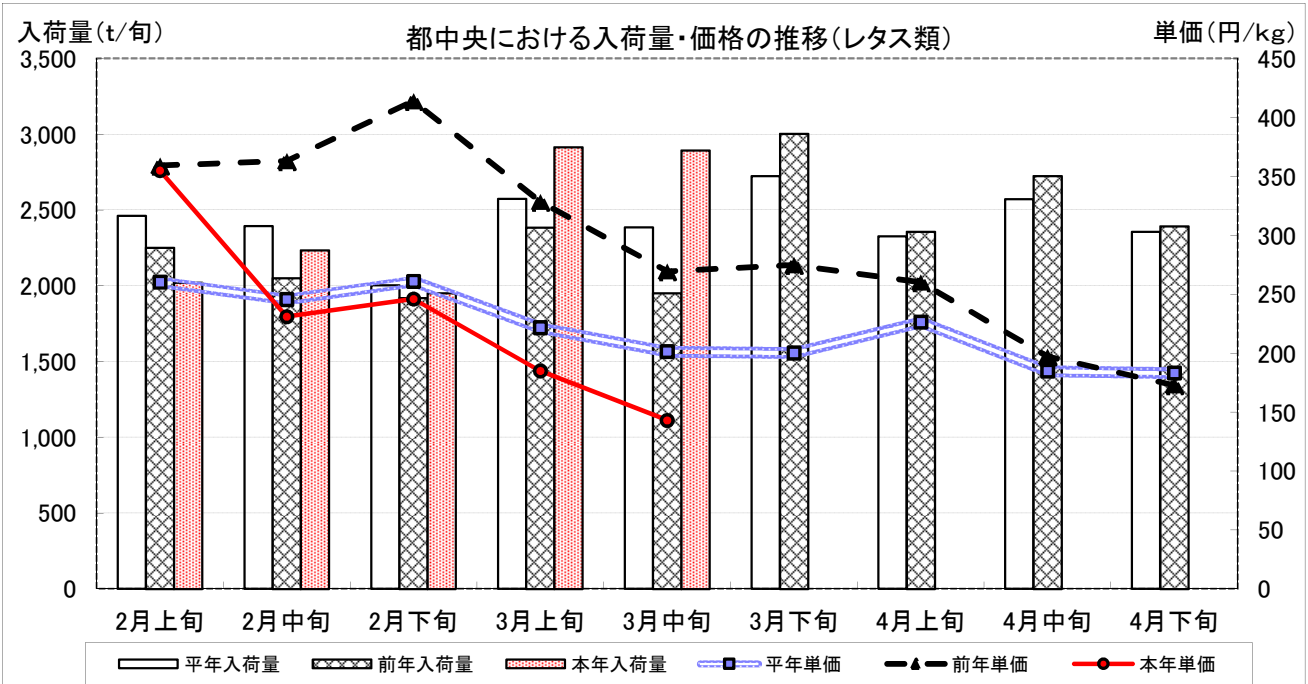
入荷予測	3,800t(前年比101.2%、平年比94.2%)
価格予測	240円(前年比94.1%、平年比87.3%)
市況予測	上旬;強保合、中旬;保合、下旬;強保合
主産地の概況	千葉県;生育は良好で、土寄せ作業も順調に進んでいる。一部で病害の発生が散見されるものの、品質は概ね良好。出荷量は前年をやや上回る見込み。 埼玉県;寒さが緩み葉の展開が再開してきた。例年よりやや細めが多いものの、回復見込みであり、出荷量は前年並を見込む。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

レタス類

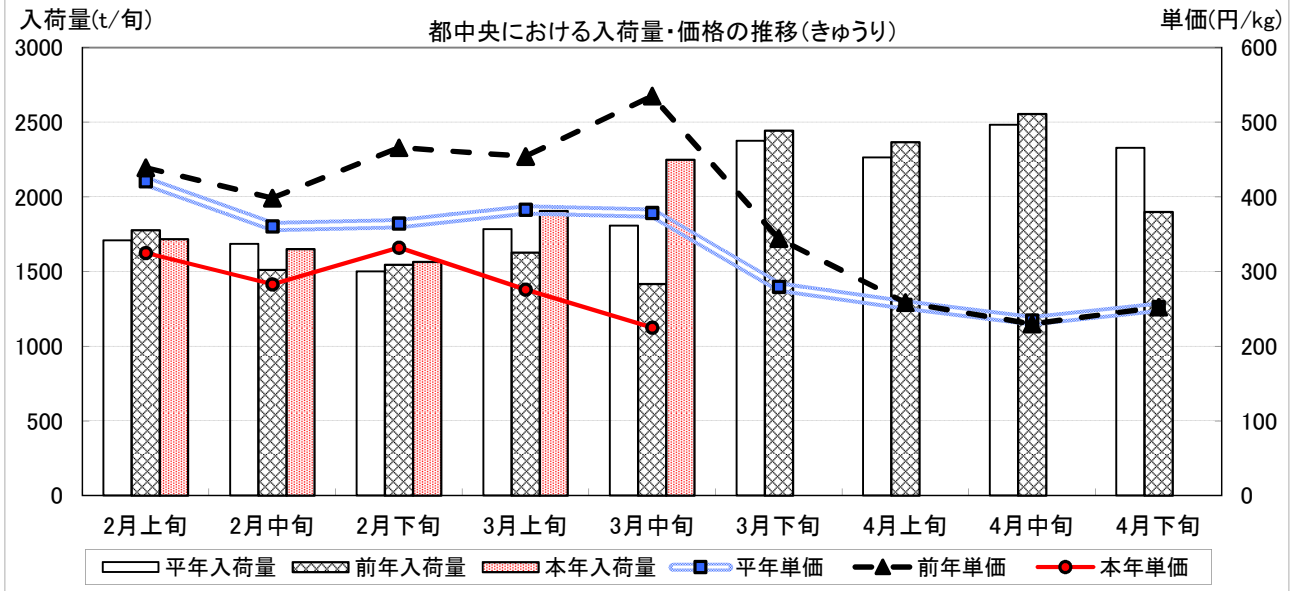
入荷予測	7,800t(前年比104.4%、平年比107.5%)
価格予測	150円(前年比71.8%、平年比75.8%)
市況予測	上旬;保合、中旬;保合、下旬;保合
主産地の概況	茨城県;気温の上昇とともに生育は平年並まで回復している。出荷量は少なかった前年をかなり上回る見込み。 兵庫県;低温の影響で生育はやや遅延している。出荷量は前年をやや下回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

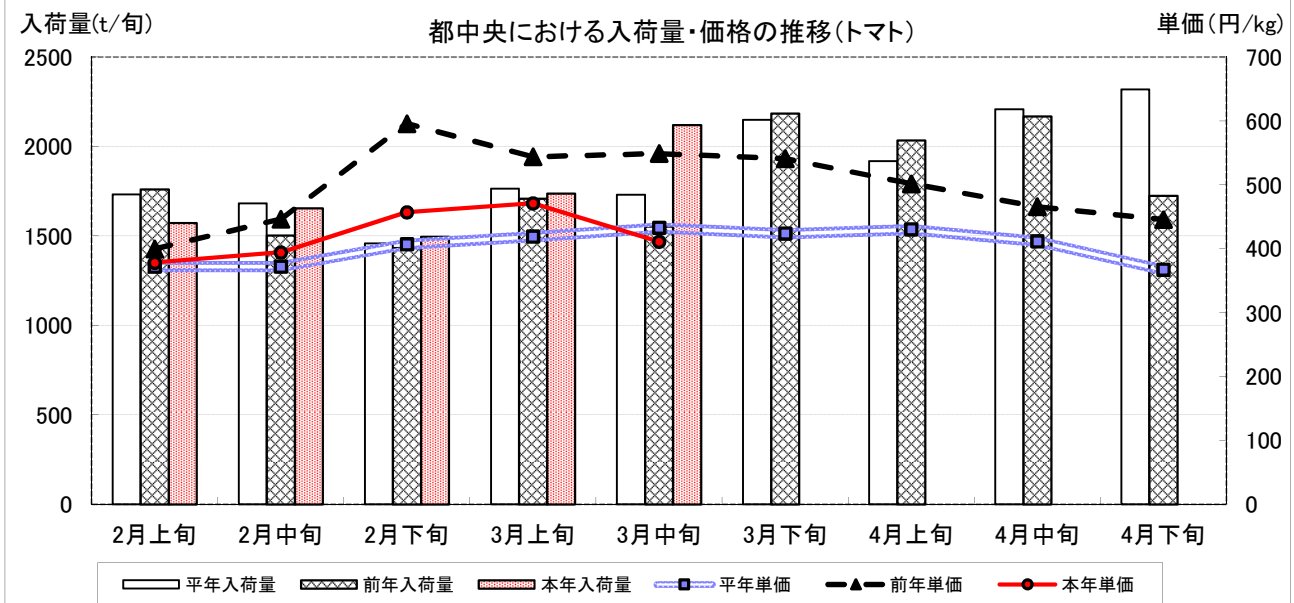
きゅうり

入荷予測	7,000t(前年比102.6%、平年比99.0%)
価格予測	230円(前年比93.5%、平年比93.1%)
市況予測	上旬:弱保合、中旬:保合、下旬:保合
主産地の概況	埼玉県:気温の上昇に伴い、生育は順調に推移している。今後も、気温の上昇と日射が強まる見込みのため、出荷量は前年並の見込み。
	群馬県:気温の上昇に伴い生育の遅れも回復し、順調な着果も見られることから、前年並の出荷量を見込む。
	千葉県:生育は順調。一部で病害虫の発生が散見されるものの、品質は概ね良好。出荷量は少なかった前年をやや上回る見込み。



トマト

入荷予測	6,100t(前年比102.9%、平年比94.6%)
価格予測	320円(前年比67.8%、平年比79.8%)
市況予測	上旬:保合、中旬:保合、下旬:弱保合
主産地の概況	栃木県:生育は1週間程度遅延しているが、玉伸びは良好で作柄は平年並。一部に葉先枯れが見られ、灰色かび病の発生が懸念される。出荷量は前年をやや上回る見込み。
	熊本県:2月以降、日照量が確保でき生育は良好。出荷量は前年をやや上回る見込み。
	愛知県:生育は、概ね順調。出荷量は、前年並の見込み。
	千葉県:生育は順調であるが小玉果が多い。4月出荷分については、乱形果の発生がやや多くなる懸念される。出荷量は少なかった前年並の見込み。



II 花き情報

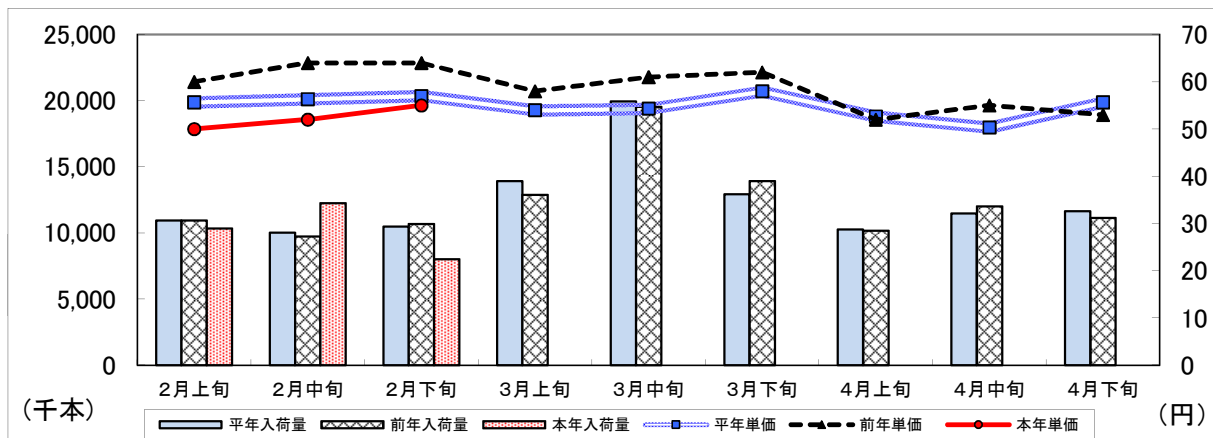
1 3月の経過（切花）

3月は、前月までの低温傾向から一転して暖かい日が続いたことで、これまで開花が遅れていた花の出荷が進みました。このため、中旬の入荷量は平年を大幅に上回り、単価は下落しました。

（1）販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

入荷量	上旬	気温が上昇したため開花が遅れていた花の出荷が進み、入荷量は増加した。
	中旬	暖かい日が続いたことからさらに入荷量が増加し、平年を大幅に上回った。
相場	上旬	入荷量が増加した一方で、引き合いは弱く単価は下落し、平年を下回った。
	中旬	彼岸や卒業式の需要期であるものの、入荷量が急増したことから単価は下落し、平年をかなり下回った。
品目等	上旬	気温の上昇により、当初生育が遅れていたキンセンカなどの彼岸向けの商品も入荷量が増加した。
	中旬	入荷量の急増で多くの品目で単価が下がる中、サクラなど枝物の一部では堅調な取り引きとなった。

（2）入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
 平年値は過去3カ年の平均

（3）品目別経過（上～中旬）

カーネーション	「大田花き」気温の上昇により、一部産地を除きまとまった入荷となった。上旬は大きな需要が無く厳しい展開となった。中旬以降は彼岸需要中心の取り引きであったが、入荷量が多いことから上旬に続き厳しい取り引きが続いた。 「世田谷花き」気温の上昇に伴い、彼岸需要前に入荷量が急増したことで相場が崩れた。
バラ	「大田花き」全国的な気温上昇に伴い各産地とも出荷量が増加した。このため週末を中心に送別需要があったものの相場は下げた。 「世田谷花き」入荷数量はほぼ昨年並み。卒業式需要などあるが、いまひとつ盛り上がり欠ける展開となった。
カラー	「大田花き」千葉、愛知産を中心に上位等級の入荷量が増加し、厳しい販売状況が続いた。 「世田谷花き」千葉・愛知・熊本産のウェディングマーチを中心に入荷量が増加した。
ガーベラ	「大田花き」冷え込みが緩み、暖かい日が続いたことで安定した入荷となった。卒業式などの年度末需要に支えられ、比較的堅調な取り引きとなった。 「F A J」仏花が入荷量の急増により厳しい相場展開となる中、ガーベラは卒業、離任式需要から堅調相場で推移した。 「世田谷花き」静岡・千葉産中心。入荷は増加傾向で、L等級の発生率が高かった。

2 4月の見通し

カーネーション

産地の見通し							
主要産地	作付面積 h a (前年比)	4月出荷見込み		4月のピーク			作柄及び概況 ①生育状況や品質、②主な品種名と出荷割合、 ③産地の動きや新たな取り組み
		出荷全体	京浜地域	上	中	下	
		千本 (前年比)	千本 (前年比)				
南房総市 (富浦、三芳、丸山、和田) 鴨川市 鋸南町	22.0	5,880	2,060	40	30	30	①3月上旬からの気温上昇で開花が進んでいる。4月の出荷量は平年並みの見込み。品質は良好。 ②ST系とSP系はほぼ50%ずつ。
	100%	100%	100%				
香取市 東庄町	3.0	300	300	30	35	35	
	100%	100%	100%				
市場の見通し							
大田花き	各産地とも安定した出荷となる見通し。上旬に宴会需要がある以外に大きな需要は無く、3月に続き厳しい展開が予想される。下旬より母の日へ向けた動きが徐々に出てくる見通し。						
世田谷花き	輸入が控えられ、相場は中値で安定する。						

カラー(水生)

産地の見通し							
主要産地	作付面積 h a (前年比)	4月出荷見込み		4月のピーク			作柄及び概況 ①生育状況や品質、②主な品種名と出荷割合、 ③産地の動きや新たな取り組み
		出荷全体	京浜地域	上	中	下	
		千本 (前年比)	千本 (前年比)				
君津市	7.0	600	450	25	35	40	①ウェディングマーチ、アクアホワイトともにLサイズ(90cm)が中心となる見込み。開花が進み4月が出荷ピークとなる。 ②ウェディングマーチ90%、アクアホワイト10%。
	100%	100%	100%				
市場の見通し							
大田花き	千葉、愛知産中心の入荷。上旬から中旬に向けて入荷数量がまとまる見込み。						
世田谷	出荷量は増えてくるが、需要は落ち着く。						

ガーベラ

産地の見通し							
主 要 産 地	作付面積 h a (前年比)	4 月出荷見込み		4 月の ピーク			作 柄 及 び 概 況 ①生育状況や品質、②主な品種名と出荷割合、 ③産地の動きや新たな取り組み
		出荷全体	京浜地域	上	中	下	
	千本 (前年比)	千本 (前年比)					
旭市	5.0	720	720	25	30	45	①気温の上昇で出荷本数が増加してきた。一部でダニの発生が見られる。 ②品種は多数。
	80%	70%	70%				
白子町	2.8	290	290	35	35	30	①生育は順調で、病害虫の被害もほとんどなく、品質は良好。 ②大輪系、小輪系、スパイダー系。花色は、ピンク系、黄色系、オレンジ系、ホワイト、複色、レッド等に加え、ミックスがある。
	100%	100%	100%				
市場の見通し							
大田花き	引き続き安定した入荷を見込む。暑い夏を想定し、早目に改植を行う産地もある模様。						
F A J	4月前半は入学、入社関係の需要が見込めるが、中旬以降は相場展開はやや苦戦。改植に入る時期のため品種数は減少する。						
世田谷花き	潤沢な入荷となる見込み。2Lで単価25円～と予想。						

スターチス (シヌアータ)

産地の見通し							
主 要 産 地	作付面積 h a (前年比)	4 月出荷見込み		4 月の ピーク			作 柄 及 び 概 況 ①生育状況や品質、②主な品種名と出荷割合、 ③産地の動きや新たな取り組み
		出荷全体	京浜地域	上	中	下	
	千本 (前年比)	千本 (前年比)					
館山市(神戸)、 南房総市、 鋸南町	2.2	250	170	30	30	40	①3月上旬からの気温上昇で、収穫本数は増加していく見込み。灰色かび病等病害虫や低温による生理障害の発生は見られず、品質は良好。 ②JA安房神戸はサンデーシリーズ、アクアブルーなど。
	90%	90%	90%				
市場の見通し							
大田花き	大きな需要も無く落ち着いた取引となる見込み。量販店、加工中心の動きとなる見込み。						
F A J	需要期過ぎ入荷量減少。引き合いも少なくなり落ち着いた相場展開となる見込み。						

3 特ダネ・花前線

(1) Photoレポート in 大田市場

【平成24年度カラー3県合同販売促進活動 ーホワイトデーはカラーを贈る日ー】

純白の花・カラーのホワイトデーへの利用拡大を図るため、「ホワイトデーはカラーを贈る日」をキャッチフレーズに、2月18日～3月14日のおよそ1ヶ月間にわたり、主要生産県である千葉・愛知・熊本の生産者・関係団体が合同販促活動を展開しました。



【都内3市場でのPR活動】

東京都中央卸売市場の大田・世田谷・板橋の3市場において、展示やセリ前挨拶などのPR活動を行いました。このうち大田市場ではチーバくんとくまモンの夢のコラボが実現。人気者のマスコットを一目見ようと集まった買出人で、市場は大いに盛り上がっていました。



【銀座でのPR活動】

銀座ソニービルでは、ロビーでの展示や消費者への配布を実施。カラーの前で記念写真を取るなど、多くの消費者が優雅なカラーの花を楽しんでいました。

また、3月1日には3県関係者によるフラワーウォークも行いました。(表紙参照)

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	2月				累計 (H24. 4月～H25. 2月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	23,488	172	98	172	278,184	166
だいこん	2,496	98	81	91	34,438	79
にんじん	1,215	126	77	106	17,783	124
はくさい	2,248	68	94	97	22,431	57
キャベツ	3,802	97	90	76	50,570	70
ねぎ	1,024	206	87	84	11,483	240
トマト	684	443	103	88	13,067	365
きゅうり	837	304	116	69	11,522	253
ばれいしょ	1,566	92	91	79	17,060	92
たまねぎ	2,163	90	112	95	19,848	95
レタス	983	245	132	69	13,025	175
果実	6,088	301	93	301	77,425	270
みかん	1,862	196	100	84	16,726	206
かき類	51	303	375	69	4,873	193
グレープフルーツ	154	161	52	115	2,684	147
なし類	9	289	612	115	5,701	299
ぶどう類	9	394	67	82	2,352	601
いちご類	634	1,053	124	81	2,807	988
すいか類	5	356	58	111	7,327	166
メロン類	61	351	204	45	3,864	329
バナナ	544	142	72	127	8,880	113
りんご	846	233	114	65	6,410	282
その他	262	178	91	178	2,978	187
青果物合計	29,838	198	97	198	358,587	189

2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	2月				累計 (H24. 4月～H25. 2月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	2,415	47	95	105	30,039	51
きく	370	55	45	83	9,851	58
バラ	54	66	74	72	1,271	57
カーネーション	114	42	47	100	3,794	38
枝物	86	97	107	90	1,231	91
鉢物	92	108	90	101	1,395	126
その他	2	91	100	306	43	109
花き合計	2,595	51	95	105	32,708	56

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単価に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

や っ ら や ば 閑 話

「おいしい!!」から脱しよう

早咲きの桜が咲いて、新年度が始まった。

自分もこの職場に来てから1年が過ぎた。思い返せばこの間、スーパーで消費者に試食セールスを行ったり、バイヤーと商談を行ったりと今までには無い経験をした。それと並んで、新たに多くの人と知り合えたことが、とても新鮮であった。

自分が一昨年まで関わってきた普及業務も多くの人と一緒に活動する仕事であったが、それは農業者やJA職員など、産地＝作り手がほとんどであった。だが、この1年間は市場の卸や仲卸、小売のバイヤーや店長など、今まで知らなかった売り手の人と接することができた。県の事務所でもこのような機会が持てる仕事というのは、希少だと思う。

そのような出会いの中で強く感じたことがある。それは末端の売り手に、商品の特性や作り手の思いがうまく伝わっていない事が多々あるということである。

量販店の仕入れは、本部のバイヤーが一括で行うケースが多く、各店舗の青果担当者や店員には販売商品に対する情報が十分に伝わっていないことがある。このため店頭で、味の良い差別化商品なのに何の説明も無かったり、あるいは、珍しい商品だが料理方法が示されていなかったりで、消費者に見向きもされず売れ残っている、そのような場面に何度も出会った。某県の宣伝ではないが、本来その商品が持つ魅力が十分に伝えられず「おいしい!!」で終わってしまっている千葉県産農産物がいくつもあって歯がゆい思いをした。

このようななか、昨年度、香取のさつまいも協議会が行った活動はおもしろかった。これは量販店での千葉フェアの開催に合わせて店頭で主要3品種の食味比較を行ったものである。フェア後に店舗関係者に尋ねたところ、それぞれの商品の特性がお客様に伝わると共に、店の人間にも勉強になったと好評であった。

ライバルである茨城県なども、市場でバイヤーなどの流通関係者を集めた説明会を開催して、販売促進を図っている。今一度、自分たちの作った商品が、「おいしい!!」で終わっていないか、どのようにしたら思いが届けられるのかを考えてみる必要があるのではないだろうか。

(ピンクの自転車)

首都圏揭示板

今年は、寒さの厳しい冬から一転して、3月に夏日を記録するなど春が急ぎ足で訪れました。ここ大田市場周辺でも一斉に萌えだす緑、咲きあふれる花など、命の躍動が例年になく強く感じられました。

さて、首都圏マーケティングセンターは、4月1日の定期人事異動により下記のとおり新たなスタッフ体制となりました。

当センターでは、千葉県農業を元気にするため、次の二つの大きなテーマの下に仕事を進めています。

一つは、販売ニーズに即した産地づくりへの支援です。生産者個人個人が、消費者や流通のニーズを直接肌で感じとり、その緊張感の中で生産出荷や産地づくりに取組むような農業の実現にむけ、微力ながら貢献することです。

もう一つは、首都圏の皆様にあされる産地イメージづくりです。首都圏には農業を身近に感じる事のない消費者が数千万人います。このような人々に、千葉県がどこよりも近く、新鮮な「地元産地」として認識してもらい、「地場産品」として本県産農産物への愛着を深めていくことです。

具体的な業務内容として、流通情報の収集・伝達、販売現場と産地との結び付け、千葉県産農産物の首都圏におけるセールスプロモーションの展開等に取り組んでまいります。

皆様の御期待に添えるよう日々努力しますので、よろしくお願いいたします。

記

平成25年度

農林水産部生産販売振興課首都圏マーケティングセンター職員

職	氏名	連絡先
室長	加藤 正道	〒143-0001 東京都中央区東海3-2-1 事務棟4階 電話：03-5492-5416 FAX：03-5492-5407
副主幹	伊藤 文雄	
主任技師	大屋敷 亮輔	
技師	柏崎 佑二	